

1. 年間目標について

- (1) 持病があっても健やかで快適な毎日が送れるよう、苦痛を取り除き、「して欲しいことは何なのか」を常に考え支援してきた。
- (2) 感染症対策については、実演を交え勉強会をすることで、職員の関心を深めることができた。また、必要に応じポスターの掲示や周知をしてきた。更に、それらに係る研修会にも（zoomを含む）積極的に参加してきた。
- (3) 新型コロナウイルスについては、これまで同様、感染防止に努めることはもちろん、情報や通知等を漏れなく収集し、適宜、現場に周知してきた。
- (4) 積極的に入居者とかかわる中で『いつもと違う』と云うことに、気付ける人間性と専門性を持ち備えた看護師になれるよう互いに日々スキルを磨いてきた。
- (5) 終末期においても施設生活が安心して送れるよう、多職種間との協働体制を整え、必要とされる知識や技術についても共に学習し、最期まで寄り添ってきた。
- (6) 職員の健康管理にも留意し、定期健診は基より、個別の相談などにも対応できるよう専門知識の向上と時節に合った管理指導に努めてきた。



2. 入居者及び職員の健康管理について

健康管理について (入居者)	➤ 健康診断 令和7年5月9日 入居者 46 名受診、うち有所見者 35 名。要精検者については診察時に確認、適宜腹部 CT などの検査をしている。 ➤ インフルエンザ予防接種については、11 月 21 日に 43 名の入居者に接種。 ➤ 入居者の新型コロナ罹患者は 0 名。 ➤ 口腔衛生管理については、歯科医である南相馬市の熊耳医師に依頼。歯科衛生士の指導を受けるなど、医師にも定期的に診ていただいている。また、年 2 回口腔衛生指導を、実際にケアに携わる職員向けに開催した。
体調管理について (職員)	➤ 介護職員の平均年齢も高く、柔軟性と筋力の低下が目立ち、体調不良を訴える職員が目立っている。 ➤ 腰痛対策については、予防法と介護技術の修得及び、福祉用具の購入（個人購入も含め）腰部にかかる負担軽減に努めた。 ➤ 職員のインフルエンザ罹患者は 0 名。新型コロナについては罹患患者 4 名を確認。が、これまでの知識を生かしたことで感染源の拡散には至らなかった。
健康診断について (職員)	➤ 健康診断 1 回目 令和7年5月9日 44 名が受診。 2 回目（夜勤に従事する者のみ）令和7年 11 月 17 日に 19 名が受診。 ➤ 職員の 3 分の 1 が再雇用となっている。についてはその殆どが何らかの慢性疾患があり、内服薬の処方を受けている。他、それぞれ指摘された事項について相談と病院受診の必要性を話す。 ➤ 腰痛検査（年 2 回）については、問診票で調査。半数近くは接骨院などに通院しているのが実情。 “総合的に心配なしと判断”という結果が殆どであった。



受診について	➤ 救急車搬送は0件、介護と看護間の連携と情報を共有することを次年度も目標とする。 ➤ 重症度の高い入居者についても主治医の指示の下、家族への連絡を密にするなど信頼関係を築くことができた。 ➤ 診療については、いいたてクリニックから毎週火曜日に回診と定時薬の処方を受けていた。慢性疾患のみならず、臨時薬や点滴の処方もあり、施設内で寛解できたことは何よりであった。
健康教育と学生教育について	➤ 福島医科大学作業療法科より、実習生の受け入れを行い、高齢者介護の基礎の習得に働きかけた。 ➤ 感染症委員会（BCP）には固定した看護師が就き、施設内研修として年に2度開催。 ➤ 4月には吐物処理（演習の実施）、年明け3月には感染者発生時の対応を考え、そのゾーニングの方法、物品保管場所の確認を、演習を交え行った。



3. 終末期ケアについて

看取りについて	➤ 12名の方が施設内の自分の居室で永眠されている。酸素吸入など医療的な処置があっても最期まで施設内で過ごさせてあげたいという介護職員がいたからこそできたことだと思っている。 ・ 在宅酸素療法3名 ・ C-PAP（睡眠時無呼吸症候群の酸素療法）1名 ➤ 主治医である本田医師には毎週火曜日の定期診療に加え、深夜早朝にもかかわらず対応していただき、最期の確認と家族への説明をして頂いた。年間30回を超える往診もしていただく。 ➤ 感染予防策として制限付きの面会の中、最期だけはベッドサイドで顔を見てもらうことを可能とした。
---------	--

4. 通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
あづま脳外	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4人
いいたてクリニック	1	0	1	1	3	2	0	3	0	1	1	1	14人
（本田医師往診）	0	18	2	2	4	1	1	6	1	0	1	0	36人
くまがみ歯科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1人
（熊耳先生往診）	5	5	5	4	5	4	4	0	5	4	4	7	52人
府野歯科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2人
南相馬市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人

*11月については、風邪などの感染症が多発したことで、口腔衛生指導は会議室での開催にとどめた。